

時間割コード	G1D11217	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅡ(A)(中級)				担当教員	MITCHAM RODERICK ELLIS	
英文授業名	Academic English PhaseⅡ(A)						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	T I (10)
講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading 及びAcademic Writing の演習を行う。 ・ Academic Reading: 習得したアカデミックレベルの語彙・文法・構文を基に、学術的な英文を読解する。 ・ Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につける演習を行いながら、1 ないし複数のパラグラフから成る説得力のある英文を作成する。						
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression						
(6)授業計画	Semester (weekly) plan 1. Course Introduction; Principles of Essay Design and Delivery 2. Task Comprehension; Model Essay 3. Topic 1 Essay Start 4. Topic 1 Essay Cont. 5. Topic 1 Essay Cont. 6. Check and submit Topic 1 Essays; Presentation Practice 7. Topic 1 Essay Presentations; Mid Semester Exam preparation 8. Mid Semester Exam ; Review 9. Feedback on writing 10. Model Essay revisited 11. Topic 2 Essay start 12. Topic 2 Essay cont. 13. Topic 2 Essay cont. 14. Check and submit Topic 2 Essay; Practice presenting 15. Essay Presentations; Final Exam Preparation; 授業アンケート 16. Final Exam This schedule is tentative and might change depending on the needs of the students.						
(7)成績評価の方法	Essays will be worth a total of 30%, the mid semester exam, 30%, and the end of semester exam, 40%.						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	This is a 1-credit course and requires at least 15 hours of study outside of class. Be sure to thoroughly prepare for and review each class, and always submit assignments by the deadline. Specific study methods will be explained during the introductory orientation.						
(10)履修上の注意	Homework to be completed as instructed.						
(11)質問,相談への対応	Contact r_mitcham@shinshu-u.ac.jp by email in the first instance.						
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・ 感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・ 「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Not specified
【参考書】	Sources will be recommended during the course as necessary.